

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



2012-2013

Mitsukaido R.C

50th Anniversary

2012-2013 年度 RI会長
田中 作次

次回例会予定 5月29日 50周年記念 振替休会
6月 5日 2012-13年度事業報告

VOL. 50 No.38(通算No. 2359)

2013年5月22日(水)例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸 報 告
幹事報告
会長挨拶
50周年実行委員会会議



写真提供:和久事務局

2012-2013 年 度

会 長 青 木 正 弘

幹 事 石 塚 克 己

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>



例会報告 Vol.50 No.37(No.2358) 5月15日(水)晴れ (司会 倉持功典委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆50周年実行委員会会議

諸 報 告

50周年記念事業委員会 北村英明委員長

つくばみらい市植樹・石碑の披露会並びにタイムカプセル事業を、本日午後4時よりさくら公園にて行います。御参加お願い致します。



タイムカプセル事業



植樹

幹 事 報 告 石塚克己幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 牛久RC 5月27日(月)クラブ協議会のため PM 7:00より時間のみ変更

6月3日(月) 創立記念例会のため PM7:00会場 山水閣

***5月26日(日)50周年式典後 慰労会のお知らせ**

午後4時より 於:満月 会費:3,000円

会 長 挨 拶 青木正弘会長



ご挨拶申し上げます。今頃の時期になりますと、若草を抜けてくる初夏の風の匂いをそこはかとなく感じ、いいものだと思います。ただ昔は、たとえば2月頃に梅が咲いたときにも「風薫る」と言ったそうで、「風薫る」は5月に限らなかったわけですが、いつの間にか5月の若草の匂いが、風薫るとい言葉に一番ふさわしいということになって、俳句の季語にもなっております。

さて、いよいよ水海道ロータリークラブの50周年式典まであと11日と迫っ

て参りました。各委員会の皆さまには準備万端で式典当日を待つばかりかと思いますが、12日(日)に一足早く、つくば市の東雲で開かれたつくばシティーロータリークラブ20周年式典に幹事共々出席して参りましたので簡単にご報告させていただきます。

我々と同じ会場で行われる式典、及び祝宴なので興味津津できょろきょろしながら見てまいりました。まず受け付けで名札が配られ、資料は手提げ袋に入り各自の椅子の上に置いてありました。

式典は、14:00に開会し 点鐘、会式の言葉、国歌斉唱、ロータリーソング(奉仕の理想)、来賓紹介、参加クラブ紹介、実行委員長挨拶、会長式辞、記念事業目録贈呈、感謝状並びに記念品贈呈、来賓祝辞は、野堀ガバナー、丹羽衆議院議員、橋本知事代理、市原つくば市長、つくば青年会議所飯田理事長が挨拶。閉式のことば、点鐘、諸事お知らせと進み。予定の時間を10分オーバーで15時に終了しました。10分間の休憩をはさみ、15時15分から約1時間、記念講演がありました。

16時35分から18時まで懇親会が行われ、和太鼓のパフォーマンスのあと、4斗樽2本(霧筑波)の鏡割りが行われました。料理はビュッフェスタイルで提供されBSKから派遣された10名のコンパニオンがお客様の10テーブルを担当し飲み物や食事のサービスをしておりました。

アトラクションは、ベリーダンス(プロ?何歳?)と会員(プロも混じる?)によるソーシャルダンスでした。

参加者数は、地区内27クラブ、自クラブを入れて130名弱で、分区内のガバナー補佐経験者8名と元メンバーも6人が招待され出席しておりました。

早々と20周年の記念誌が皆さんに配られる等、クラブによって様々なやり方があるものだと感心して帰ってまいりました。以上ご報告させていただきました。





50周年実行委員会会議

5月26日 任務分担(案) *会員敬称略

全体統括 鈴木豊実行委員長
総務 熊谷・和久

AM08:00 集合対象者 受付担当・会場設営・式典・役員

交通送迎

スタッフ・会員・家族対応 担当 (自家用車)武藤・古矢

スタッフ用バス AM07:30 白井石油前出発 →AM08:00 ホテルグランド東雲
会員・家族用バス AM09:00 白井石油前出発 →AM09:30 ホテルグランド東雲
会員・家族用バス PM02:50 ホテルグランド東雲→白井石油前

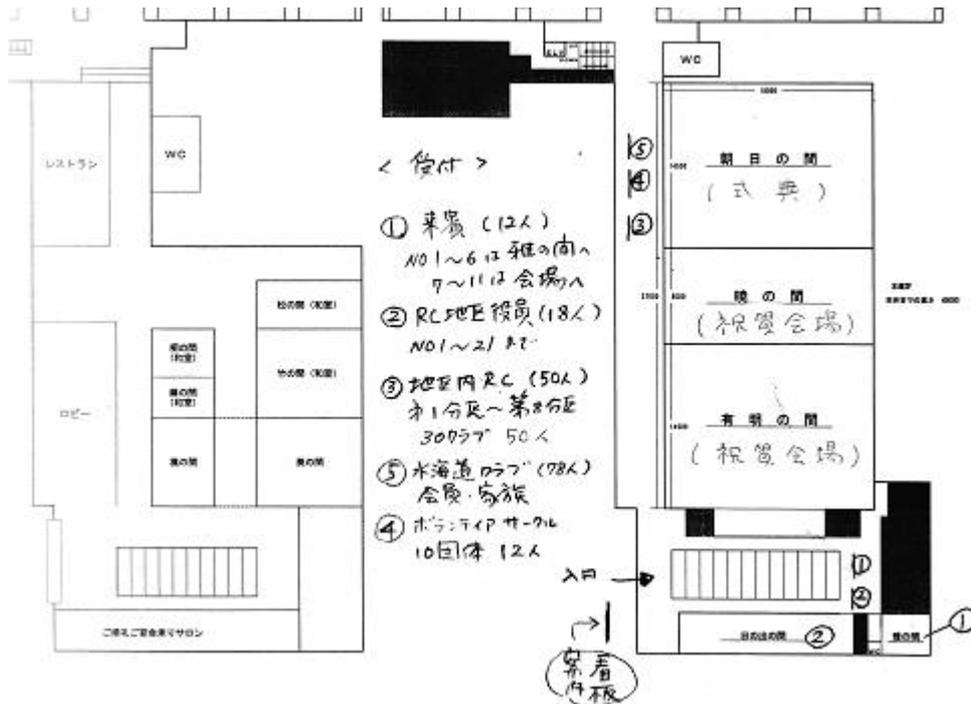
ツウンバ RC 対応 担当 登坂・通訳(猪瀬雅子さん)

三妻タクシーワゴン予定

AM09:00 水海道第一ホテル出発→ホテルグランド東雲
PM02:50 東雲発のバスに同乗→第一ホテルへ

受付

受付配置 別紙平面図参照



実行委員長・会長・幹事は受付付近でお出迎

担当スタッフ

- 受付 1番 来賓担当 12名 白井・松崎・秋田・古谷
 来賓控室① 雅の間 No1 から 6 までを誘導
 接待 松坂・青木(清)
- 2番 RI2820 地区役員 18名 齋藤・北村(陽)・石井
 地区役員控室② 日の出の間
 接待 北村(仁)・大塚・田上
- 3番 地区内 RC
 第1分区分~第5分区分 21名 亀崎・山野井・五木田(益)・木幡
 第6分区分~第8分区分 29名 海老原・山牟田・雨谷・高須
- 4番 ツウンバ RC 3名 北村(英)・二本松・福田
 ボランティア団体 14名
- 5番 会員・家族 23名 五木田(利)・荒井・砂長
 米山奨学生 2名
- 式典・祝宴会場設営・看板点検 担当 大串・松村・島田
 会場内映像及び表彰者誘導 担当 瀬戸・鈴木(勝)
 進行及び備品準備 担当 染谷(秀)・五木田(裕)・倉持
 (浅香美沙さん)
- 映像・記録 (有BSK) 対応担当 染谷(正)
 クラブカメラ 石塚(利)
- 祝宴アトラクション 担当 大串

出席報告 (北村陽太郎委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
55名	41名	14名	0名	10名	92.73%

ニコニコボックス（五木田裕一委員長）

入金計 ¥30,000

累計¥1,781,000

本日の記念植樹、タイムカプセルの埋設式宜しく願います。 青木(正)会員

50周年実行委員会の皆様、例日お疲れ様です。 石塚(克)会員

初孫が生まれました。私に似て、切れ長の目の女の子です。 青木(清)会員

50周年まであと10日、青木・石塚年度も1カ月半です。あと一息がんばりましょう。 大申会員

だいぶ暑くなりました。 田上会員

その他 隅屋・石塚(利) 各会員

暫らくお休みしました。 砂長会員

例会欠席しました。 山野井・高須 各会員

先週休みました。 島田会員

会報委員会 松崎隆詞委員長 五木田利明副委員長 高須 薫委員

平和はロータリーの実現可能な目標

朋友ロータリアンの皆さん、国際ロータリー会長に指名していただいた時、私の年度のテーマは、平和に焦点を当てようと考えました。3回の平和フォーラムを計画したのは、ロータリアンの皆さんに平和について考え、語り、平和な世界を築く方法についてアイデアを分かち合う機会を持っていただきたいと考えたからです。今月、その3回目である世界平和フォーラムが、広島で開催されます。

「平和」とは

私たちは毎日「平和」という言葉を耳にします。しかし、私たちのほとんどが、平和とは何なのかについて考えることはあまりありません。最も単純なレベルでは、「平和」ではない状態を考えることで定義することができます。つまり、戦争や暴力や恐れのない状態のことです。飢餓の危険、または迫害、あるいは貧困の苦しみのない状態を意味しています。

しかし、「平和」とは何か、どういう可能性があるのかで定義することもできます。「平和」は、思想と言論の自由、意見と選択の自由であり、そして自らの意思で決定をすることができることです。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。もっと抽象的に言うと、「平和」とは幸福感や心の平穏、静けさであるとも言えます。

「平和」に向けてロータリーができること

私たちがどのようにこの言葉を使おうと、私たちがどのように平和を理解しようとして、ロータリーは、私たちが平和を実現することを後押ししてくれます。ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育などの人々の基本的なニーズに、それが最も必要とされている地域で私たちが応えることができるよう助けてくれます。また、友情、絆、思いやりといった、私たちの心のニーズにも応えることができます。さらに、紛争の要因を減らすことで、最も伝統的な意味での平和を築いてくれます。つまり、人や国との友情と寛容を育てるのです。

「平和」をどのように定義するにしても、私たちにとって平和が何であったにしても、私たちは奉仕を通じて、平和をもっと現実に近づけることができます。平和は、どのような意味で捉えるにせよ、ロータリーの現実的な目標であり、実現可能な目標です。平和は政府による協定や英雄的な取り組みによって実現できるものではなく、日常のささやかな行為の積み重ねの中から見だし、そして、達成できるものなのです。

平和な世界を築くというロータリーの目標に向けて、また「奉仕を通じて平和を」築く活動を実践するため、皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

SAKUJI TANAKA

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL